次世代車、航空宇宙に軸足

愛知県は次世代自動車や航空宇宙、環境・エネルギー、健康長寿を成長分野と位置付け、新産業の育成・振興や集積を図っている。「内外から人、モノ、金を呼び込むことで世界と闘える都市をつくる」と語る大村秀章知事に、具体的な施策や国際総合戦略特区への意気込みを聞いた。（名古屋編集委員・山中久仁昭）

中京都構想

県と名古屋市が司令塔を一つに

大村 秀章 愛知県知事 インタビュー

〝稼げる地域〟形成

ライバルは中国・上海

―知事就任から9カ月たちました。河村たかし名古屋市長とともに「中京都構想」を打ち出しました。

「県と名古屋市が司令塔を一つにして〝稼げる地域〟を形成し、世界に打って出ようというものだ。ライバルは中国・上海市やシンガポールなど世界の都市だ。愛知・名古屋は人口約742万人、国内総生産（GDP）は40兆円弱。愛知県の製造品出荷額等は2010年の調査で38兆円を超す。34年連続で全国首位だ。目指すのは『平成の楽市楽座』だ。外交、防衛、通貨以外のことは国から独立し、世界から人やモノ、金、企業を呼び込む。優秀な人が集まると新たなビジネスが生まれ、付加価値ができて都市は発展していく。また東京と大阪の間にあり、交通インフラなどが充実している。中京都構想を進めるために、企業立地やエネルギーなど六つのプロジェクトチームを設置し、議論を行っている」

「中京都構想を進めるため、企業立地やエネルギーなど六つのプロジェクトチームを設置し、議論を行っている」と大村知事

したが、その狙いは。

「県と名古屋市が司令塔を一つにして〝稼げる地域〟を形成し、世界に打って出ようというものだ。ライバルは中国・上海市やシンガポールなど世界の都市だ。愛知・名古屋は人口約742万人、国内総生産（GDP）は40兆円弱。愛知県の製造品出荷額等は2010年の調査で38兆円を超す。34年連続で全国首位だ。目指すのは『平成の楽市楽座』だ。外交、防衛、通貨以外のことは国から独立し、世界から人やモノ、金、企業を呼び込む。優秀な人が集まると新たなビジネスが生まれ、付加価値ができて都市は発展していく。また東京と大阪の間にあり、交通インフラなどが充実している。中京都構想を進めるために、企業立地やエネルギーなど六つのプロジェクトチームを設置し、議論を行っている」

電力供給で最も安定

―東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、安定した当地域の電力供給が注目されています。

「5月に政府から中部電力浜岡原子力発電所（静岡県御前崎市）の停止要請があった。日本一の産業県である当県がフル回転して日本を支えようという時に水を差しかねないと思い、国に安定供給策を要請して中部電力とは議論を重ねた。準備のかいあってか全国で電力不足が懸念される中、当地域が電力供給で最も安定していると評価されているのが実情だ。中電の原発への依存度は約15％と低い」

―今年の夏は産業界の節電の取り組みで、乗り切ることができました。

「電力・エネルギーは産業の生命線。来年夏には自動車産業などが土日操業しなくても済むようにするのが最重要課題。今年夏の土日操業では、車分野以外にも取引先を持つ中小企業が休めない、家族との触れ合いが減ったなどの問題があった。どんなことがあっても電力を確保するように中電に要請しており、懸命にやってもらっている」

―エネルギー関連の立地で動きがありますね。

「5月、リチウムイオン二次電池を開発・製造するエナックス（東京都文京区）が常滑市に中部事業所を開設した。10月には、田原市に三井化学など三井グループ6社がメガソーラー（大規模太陽光発電所）を来年着工することを表明した。出力5万キロワットの太陽光、同6000キロワットの風力発電を計画。再生可能電力の発電所では国内最大規模のもので、投資総額は180億円に上る」

円高対策で企業を支援

―製造業の空洞化が懸念されていますが、どう対応していきますか。

「超円高が続けば、地域経済や雇用が大変なことになるという危機感を抱いている。空洞化の回避には、まず国が行き過ぎた円高を是正し、電力の安定供給を確保するなど、迅速で的確な対応をとることが不可欠で、国に働きかけている。県は緊急円高対策などを通じて企業を支援している」

―9月末、政府に航空宇宙産業に特化した「国際戦略総合特区」の指定申請を行いましたね。

「12の自治体が共同で申請した。当地域は米ボーイングの中型旅客機『787』の日本生産比率約35％の全量（出荷品ベース）、日本の航空宇宙生産額の約半分を担う。重工3社や東レに代表される企業群や、名古屋大学などの研究機関、国の施設などがあり、素材から試験研究、製造販売、保守管理にいたるまで、この地で総合的に対応できる。航空機は部品が車の約100倍、技術波及効果が約3倍。特区に指定されれば、集積が新たな集積を生む」

「787の受注は800機を超えており、現状の生産体制では到底追いつかない。何倍増もの対応をとる必要があるだろう。さらに『YS―11』以来の国産旅客機として三菱航空機が手がける『ミツビシ・リージョナル・ジェット（MRJ）』も130機受注し、3年後の販売を予定している。こうした世界の実需が愛知に及ぼす効果は大きく、米シアトル、仏ツールーズに並ぶ航空機3大拠点にすべく、国の規制緩和や金融・税制上の支援措置が必要。（別件で申請した）他の都道府県は絵が描けても、当地域ほどの実需を伴う熟度の高いものはないだろう」

研究機能は日本に残す

―環境にやさしい「次世代自動車」の産業育成にも力を入れますね。

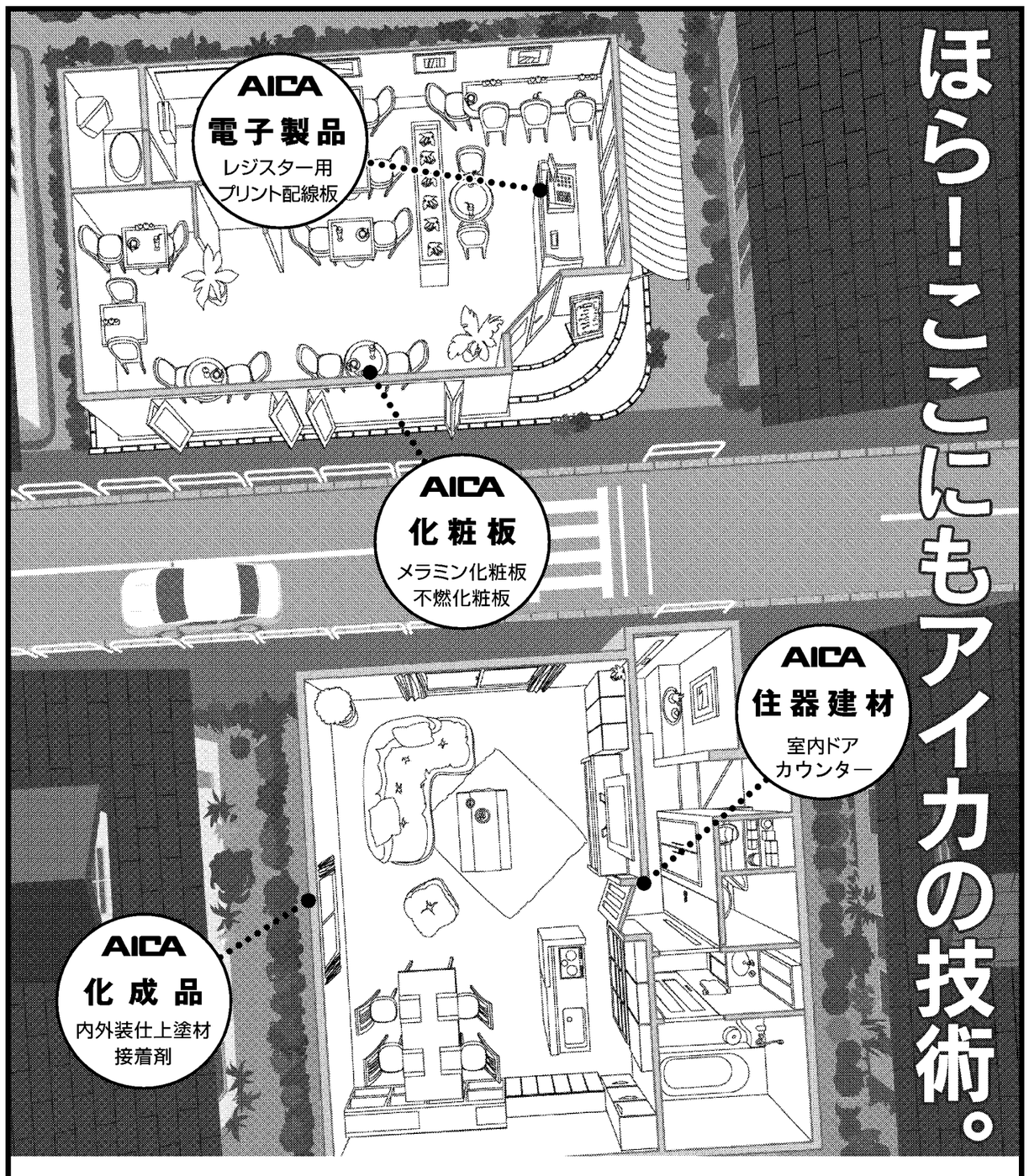
「プラグインハイブリッド車（PHV）や電気自動車（EV）などについて、技術開発や人材育成、部品産業を含む産業育成のアクションプランを策定中だ。トヨタ自動車は住宅と連携した充電や乗り換えなどの実証実験を進める一方、豊田・岡崎地区に新研究開発施設とテストコースの建設を計画している。県企業庁は事業費1000億円を投じて施設整備を支援する」

目指すのは「平成の楽市楽座」
世界から人やモノ、金を呼び込む

「計画によると丘陵地に約650㌶の土地を確保し、自然と共生した生物の生息場所などをつくりながら従業員約4000人が働く環境を整備する。9月には用地買収が済み、環境影響調査を経て来年度には約8年の造成工事に着手。トヨタは17年度から8年かけて施設を建設し、順次供用を始める。景気動向によりリスクを伴うが、着実に進めていく。超円高で国内に製造業が残れるかという懸念があるが、本社や研究開発の機能は何としても日本に残したい」

―14年に技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会を愛知で開きます。

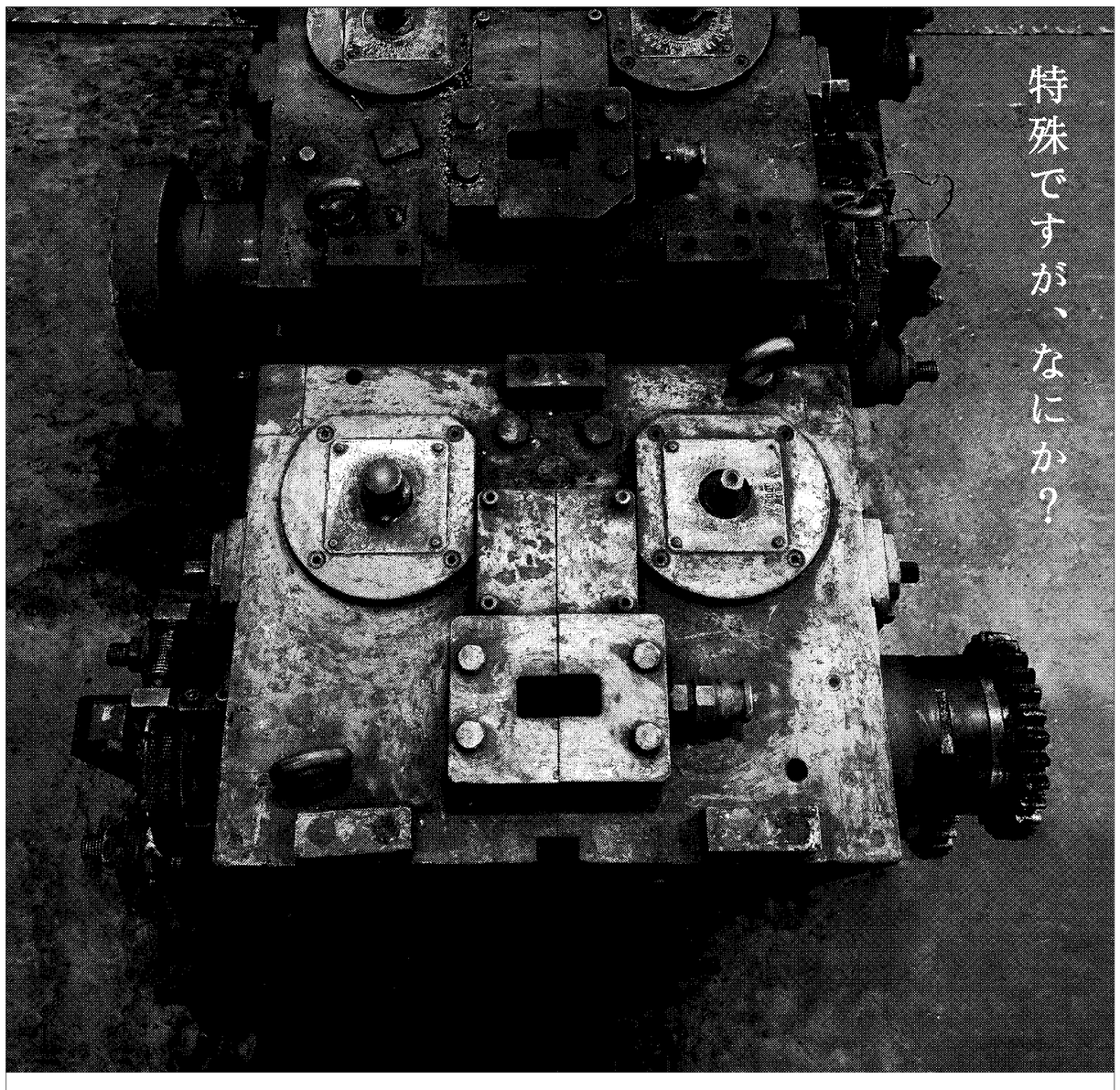
「モノづくり現場を支える技能者の目標の一つであり、県は準備を進めている。本県は最優秀技能選手団賞を過去6年連続で受けており、産業県にふさわしい活躍だ。輝かしい伝統を受け継いでさらに発展させたい」



住宅や店舗、病院、工場等の建材製品から、プリント配線板まで。
あなたの毎日の暮らしの中で活躍するアイカです。

http://www.aica.co.jp

AICA アイカ工業株式会社　〒452-0917 愛知県清須市西堀江2288番地 TEL（052）409-8000（代表）



ハガネのスペシャリスト、という名の会社。

大同特殊鋼